

第3章 資料編

- 資料1 広報紙「東北のかなめ」(第15号)平成23年6月30日発行
- 資料2 防衛情報「東北のかなめ」(第12号)平成23年8月24日発行
- 資料3 局長による講義・講演活動
- 資料4 震災発生当時の職員一覧(平成23年3月11日時点)
- 資料5 震災発生当時の職員一覧(平成23年4月25日時点)
- 資料6 本省等からの支援者一覧

資料1 広報紙「東北のかなめ」(第15号)平成23年6月30日発行

(1ページ:表紙)

(8ページ:裏表紙)



(3ページ)



(2ページ)

※広報紙「東北のかなめ」は、東北防衛局のホームページに掲載されています。
<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

関係機関への各種支援

△ 心療内科等医療施設における活動
△ 日本調剤所における被災支援

△ 石巻市桂田中学校における活動
△ 東松島市浜小学校における活動

△ 米軍活動支援の現場より
企画部 業務課 工藤 睦美

△ 米軍中隊との訓練状況
△ 日本調剤所の様子

東北防衛局の震災対応(1)

3月11日(金) 14時46分頃の地震発生から14分後の15時、東北防衛局は「津田沼基地を本部とする」緊急地震速報発生に伴って本部「緊急地震速報」の発生を受け、三陸沖を震源とする地震発生を受け、被災地への支援活動を行いました。

△ 業務進行
△ 気候情報監視隊の活動
△ 舟高による震災対応に動く艦隊への訓練
△ 松島基地周辺の状況(震災直後)

自衛隊施設の復旧

△ 多賀城駐屯地 応急危険度判定

△ 山形台場基地 ヘリポート及び進入路復旧作業

△ 天海朝山分屯基地 進入路等復旧作業

一復旧作業の現場より—
調達部 建築課
柏原 早絵子

私は応急危険度判定士として、今回被災した自衛隊施設の危険度判定を行いました。判定対象施設は避難施設としても大切な役割を担う施設であり、多くの人を素早く安全な建物へ避難させるためにも、この業務が重要である事を再認識しました。また、比較的新しい建物は構造的に復旧問題がなく、罹災の対策業務が今回のような大規模にも耐え得ることを確認できたと同時に、津波に対する安全基準を整備する必要があらまうことも実感しました。自衛隊施設も復旧工事が始まります。より安全な施設を建設していけるよう、頑張っていきたいと思っております。

東北防衛局の震災対応(2)

東北防衛局は「津田沼・土木・松島基地の職員が中心となる」震災復旧を推進し、震災により被害を受けた自衛隊施設の復旧に向けた積極的な支援を実施しました。

△ 松島基地 訓練演習
△ 松島基地 航空灯台点検業務
△ 松島基地 資料館復旧状況

資料3 局長による講義・講演活動

実施日	テーマ	講演場所	講演相手先	参加者数
平成23年 5月31日(火)	東日本大震災における防衛省・自衛隊の活動について	青森県三沢市	三沢ロータリークラブ例会	約40名
平成23年 10月6日(木)	東日本大震災に伴う東北防衛局の活動について	宮城県仙台市	施友会東北支部総会	約80名
平成24年 5月11日(金)	東日本大震災における東北防衛局の活動について	東京都目黒区	防衛研究所	約50名
平成24年 6月22日(金)	東日本大震災における自衛隊の派遣活動について等	宮城県仙台市	公益財団法人中部産業・労働政策研究会	約50名



三沢ロータリークラブ例会での講演の様子



施友会東北支部総会での講演の様子



防衛研究所での講義の様子



公益財団法人中部産業・労働政策研究会の
研修会での講演の様子